

【R 1 8】会話形式ノベル（台本仕様）

『美人清楚OL、リモコンバイブ調教』

～登場人物の会話と心の声形式～

作：七条右京

【登場人物】

・ しんどう ゆま 新堂由真：OL

・ ごとう しんいち 五島信一：課長

会社の金を横領した新堂由真。

**その事を、課長である五島信一に知られてしま
う。**

会議室に信一から呼び出された由真。

**「課長の言う事は何でも聞きますから、今回は
見逃して下さい」**

と、懇願する由真。

**信一：「本当にオレの言う事は何でも聞くんだ
な？」**

由真：「はい、約束します」

信一：「それじゃあ、全部脱げ」

由真のリモコンバイブ羞恥地獄の一日が始まる。

〇とある水曜日・天空商事のオフィス会議室

ごとう しんいち
五島信一：

「君、これはどう言う事だね」

「これ、不正送金だよな」

しんどう ゆま
新堂由真：

「課長、あっ、それは」

信一：

「それは何だね」

「ちゃんと説明したまえ」

由真：

「課長、今回だけは見逃して下さい」

「お願いします」

信一：

「駄目だな、退職願を出すんだな」

「今なら、依願退職で済む様にしてやる」

由真：

「今、会社辞めさせられたら困ります」

信一：

「君、困りますって」

「君のした事は、横領罪なんだぞ」

由真：

「課長、なんとかお願いします」

**「課長の言う事は何でも聞きますから、お願い
します」**

信一：

「何でも？」

「何でもねえ」

「本当に何でも聞くんだな？」

由真：

「何でも聞きます」

「約束します」

信一：

「分かった」

「君がそこまで言うのなら、今回だけは見逃してやろう」

「但し、さっき言った通り、オレの言う事は何でも聞いて貰うからな」

「いいな？」

由真：

「分かりました」

信一：

「それじゃあ、早速だが、服を脱いで貰おうか」

「君のカラダを隅々まで身体検査をするから」

由真：

「えっ、脱ぐんですか？」

「課長、それってセクハラですよ」

信一：

**「さっき、なんでもするって言っただけじゃ
ないか」**

「もう約束を破るのか？」

「それに、セクハラ？」

「犯罪者が何を言ってる」

「今、君の置かれてる状況を考えた方がいいん

じゃないのか？」

「分かった、早く退職願いを出しなさい」

由真：

「ちょっと待って下さい、課長」

「私が全て間違っていました」

「セクハラって言った事、取り消します」

「すみませんでした」

あわてて土下座する由真。

信一：

「それじゃあ、脱ぐんだな」

由真：

「分かりました」

「脱ぎますから」

信一：

「オレの言う通りに脱ぐんだ」

「まずは制服のベストだ」

**立ち上がり、紺色の制服のベストのボタンを外
そうとするが、手が震えてなかなか上手く外せ
ない。**

由真：

「すみません」

**「私、手が震えて、上手くボタンが外せませ
ん」**

信一：

「慌てなくてもいい、ゆっくりでいいからな」

**ようやく落ち着き、ボタンを一つずつ、ゆっく
り外して、ベストを脱ぎ、丁寧にたたんで置い**